



# 摂津ロータリークラブ週報

SETTSU ROTARY CLUB

Club Weekly Bulletin

第2660地区

ガバナー 高島 凱夫

- ・事務局 〒566-0001 摂津市千里丘7丁目9-31 コカ・コーラウエスト(株)千里丘オフィス6F TEL06(6330)2267(事務局直通)  
http://www.settsu-rc.gr.jp E-mail:info@settsu-rc.gr.jp
- ・例会場 〒565-0826 吹田市千里万博公園1-5 ホテル阪急エキスポパーク TEL06(6878)5151
- ・役員 会長 横田 聡 副会長 益田 光三 幹事 東谷 弥八郎

## 本日の例会第 2063 回 3月22日

- ◇ソング「我等の生業」
- ◇ロータリー勉強会  
会員委員会 担当：岩城会員

## 今週の動き

- ◇3/22(金) 米山奨学生ティリ・ヤダナさん歓送会  
於：ゆかい家
- ◇3/23(土) 会長エレクト研修セミナー 飯室会員  
地区チーム研修セミナー 佐藤会員  
於：大阪国際会議場
- ◇3/25(月) 摂津市交通安全推進協議会役員会  
於：摂津市役所 埜口会員

## 次週例会予定 3月29日

- ◇卓話「高齢者雇用安定法をめぐる諸問題と企業の対応について」  
ゲストスピーカー：  
みずほ法律事務所 土佐剛太弁護士  
担当：北畑会員

例会日の出席	会 員 数	出席免除数
	40名	7名
3月15日	出席数	出席率
	24名	66.67%
前々々回の修正	欠 席 数	内 MU数
	10名	6名
3月1日	修正出席率	
	89.19%	

## 会長の時間

3月15日

横田 会長

先週は同じ日に「クラブ社会奉仕委員長会議」と「クラブ職業奉仕委員長会議」が開催されました。地区内各クラブの委員長が集まって例年2回、会議が開催されますが、そのうちの2回目の会議でした。国内奉仕委員長の埜口さんには職業奉仕の方へ出席してもらい、社会奉仕の方へは、久しぶりに地区社会奉仕委員会のメンバーにお会いしたかったので私が出席してきました。会議では「いじめ問題」「大阪湾再生に向けた取り組み」「献血」「結核行政」と、4つのテーマについてそれぞれの専門家からの講演がありました。その内容は興味深いお話だったのですが、今すぐこれに・・・と行って飛びつくようなものは残念ながらありませんでした。ただ、この日のお話は今後の社会奉仕活動への取り組みの中で参考にできるのではないかと考えています。会議が終わって地区の副委員長さんと立ち話をしていると、委員長さんから「後片付けを手伝っていくか?」と言われました。少しは時間に余裕があったのですが、後片付けだけでは済みそうにないと思いましたが早々に退散してきました。

話は全く変わりますが、この4月から始まります2013学年度に、当クラブでお世話をする米山奨学生が決まったと地区から連絡が入りました。ベトナムの男性で、大阪大学のチャン・フォン・ダンさんです。この方のカウンセラーを決めて地区へ報告しなければなりません。カウンセラーを「やってみたいな」という方、「やってみてもいいかな」という方、おられましたら早急にお申し出ください。実は、地区への回答期限が過ぎていきます。断りは入っていますが、できるだけ早く回答したいのでよろしくお願ひします。

## 四つのテスト

- ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

## 幹事報告

## 東谷 幹事

1. 事務局パソコンのサーバーに関するメンテナンス作業を実施いたします。作業中はメールの送受信が停止いたします。皆様には大変ご不便をおかけ致しますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

<期間>2013年3月16日(土)午前0時~

2013年3月17日(日)午後11時59分

※3月18日(月)からは通常通りの送受信が可能となります。

2. 例会変更のお知らせ

☆大阪南西ロータリークラブ

2013年3月27日(水)→ 姉妹クラブ来阪のため

午後6時~ 於:オ・セイリュウ

※ ビジター受付は 12:00~12:30 スイスホテル南海大阪7階にて行います。

☆大阪堂島ロータリークラブ

2013年4月8日(月)「親睦移動例会」

⇒ 「通常例会」

2013年4月22日(月) 「通常例会」

⇒ 「親睦移動例会」

※4月22日(月)のビジター受付は 12:00~12:30 まで ANA クラウン プラザ ホテル大阪 5階 にて行います。

## 本日のゲスト

2008~2009年度青少年交換留学生 神田実菜子さん

## 委員会報告

### § 新世代委員会

### 望田 委員長

国際ロータリー第2660地区ローターアクトの活動報告書「RAC People」第2号が届きました。回覧させていただきますのでご覧ください。

## 卓話「青少年交換留学生のその後」

### 郷木 会員

卓話の時間を頂きありがとうございます。

摂津ロータリークラブに入会し早くも5年3ヶ月が過ぎようとしています。この5年間に、米山奨学生として、ベトナムからトランちゃん、ミャンマーからミャンモンちゃん、中国から王璇さん、そしてミャンマーからティリちゃんが、今います。ティリちゃんも、来週で卒業ですね。

米山奨学生を見ていると、1年で日本語の会話力の早さに驚かされます。

また、青少年交換留学生を2人見てきました。アメリカからジャヒ君、フランスからシドニーちゃんでした。日本からは神田会員の娘さんと、東谷会員の姪御さんでした。

今日は、交換留学生としてアメリカに留学し、当時、高校生だった神田会員の娘さんでミナコちゃんを招き、

留学から今までを、ロータリーの交換留学生制度を経験して感じたままスピーチをお願いしました。

ミナコちゃんは、帰国後もローテックスの会長もしていました。今年成人式も終わり大人の仲間入りし、京都で大学生活を楽しんでいるそうです。

では、宜しくお願いします。



## ゲストスピーカー：2008~2009年度青少年交換留学生

### 神田 実菜子さん

2008、2009年アメリカのミネソタ州に派遣させていただきました、京都外国語大学英米語学科の神田実菜子です。派遣させていただき、帰国してから4年と4か月がたちました。私はこの間に派遣生活を終えた人たちが参加するボランティア団体 ROTEX として活動させていただき、日本にきている海外からの派遣生(インバウンド)のお手伝いや、文化体験などの企画をしていました。2011、2012年度には2660地区 ROTEX 会長としてこのボランティア活動に参加していました。

私のスピーチが始まる際に京都外国語大学といわせていただいたのは、今まで ROTEX として活動をしているときは色々なロータリークラブで主に、派遣中の生活や、ROTEX のことについてお話をさせていただいたのですが、今回のこの場では ROTEX のことではなく、派遣前、派遣中、派遣後の神田実菜子、私自身についてお話していきます。派遣前の心境と派遣後の心境の違い。派遣生活を終え、帰国し、私自身どのように変わったのか、どのように将来を考えるようになったのかということに話の視点をおいていこうと思います。

まず初めに、私がこの派遣プログラムに参加しようと思ったのが中学3年生の時でした。進学する高校もまだきまっていなかったのですが、父が派遣プログラムの話を私に持ち出してきてくれました。私は小学生のころからオーストラリアに2か月近くいたことや、

家にイタリア人や、アメリカ人の派遣生がきていたことにとっても影響されていて、ぜひ私も国際人の一員になりたいと思ひ参加の意を伝えました。このころ私はただ単純に「英語喋れるようになったらめっちゃかっこいいやん！ みんなに自慢できるやん！ くらいにしか思っていなかったと思います。そして、派遣生活が始まるまで1年間、堺筋本町にあるガバナー事務所でも月に一度の例会に参加していました。そこには私と同年や歳の近い派遣希望者、私たちのお手伝いをしてくれる ROTEX の方、ロータリアンの方がいました。なんとなく私は参加し始めたのですが、その例会の内容は私が思っていた以上にしっかりしているものでした。例えば、派遣中のルール、派遣中の自分の目標設定、自分の地元のことについての知識を深める、帰国後の自分の目標、日本代表としてしての心得、英語での自己紹介スピーチ、など。

この時点で私が思っていた単純に海外にいき、友達を作り、外国語を習得するだけではなく、もっと自分を見直し、自分に何ができるかということを考え直さなければならぬということに気づかされました。そして、ROTEX が主催で行われるパーティーや文化行事に参加している時に、3歳くらいしか違わない先輩たちの司会進行をしている姿、行事を成功させている姿がとてもかっこよくみえ、私にはまだない「堂々さ」「自信」というものを持っているように感じました。

この先輩たちはどうしてここまで自分たちでできるのか、派遣生活中に何か特別な訓練を受けたのか、とても疑問に思えました。ここまでは私が出発前に感じていたことです。多少ではありますが、他の中学生や高校生とは違う体験をこの時点でしていたのかもしれませんが。ただ私はまだまだ「友達できるかなー、英語喋れるようになるかなー、ご飯大丈夫かなー」くらいの気持ちでいたと思います。

出発の日になり、家族、友達に見送られ一人で東京までいき、国際線に乗り換えて一度シカゴへ行きました。シカゴからミネアポリスに向かい、その空港でホストファミリーと合流する予定だったのですが、シカゴで税関がとても混んでいて飛行機に乗り遅れてしまいました。そのとき私は全くの一人。税関が混んでいて乗り遅れ、違う便のチケットを手配してもらっただけの話なのですが、頭ではそれを理解していたもののどうしていいかわからず、最悪の方ばかり考えていました。ミネアポリスの空港で誰も待っていなかったら、全然違う飛行機を手配されていたらなど。英語も喋れないし、聞き取れないながらも、とてつもなく広い空港をさまよひ、道を尋ねながら飛行機の場所までいきました。

日本のある程度の安全性、危険なところはわかります。ただアメリカは無知場所。治安は悪いときかされていた私は、飛行機に乗る間の何時間かの間かばんを握りしめ、睡魔と戦いながら座って待っていたことを覚えています。人生で初めて一人で最悪の状況下での国際便乗り換えを体験しました。ミネアポリスにつくと、ホストファミリーの方と、カウンセラーの方、みんなが私を待っていてくれました。大げさかもしれませんが、私は一人になって初めて人間の優しさにふれたように感じました。他人の子どもを何時間も待っていてくれたみんなに、今でも感謝しきれません。もちろんだれも迎えにこないわけではないのですが、最悪の状況を考えていた私は、とても嬉しいのと、やっとなつたという安堵感から涙がとまりませんでした。

派遣生活が始まり、他の国からきた派遣生と交流をする機会がたくさんありました。私は出発前に日本が好きというより、海外の生活や人々に憧れを抱いていて、海外のほうが好きという気持ちが強かったです。しかし、私が出会った様々な国からアメリカに来ている海外の派遣生は愛国心がとても強く、何よりも自分の国を誇りに思っているようでした。そして、なにより感じたのが、自分の国の習慣や、国で起こっている出来事などに関心を強く持っており、そのことから他国への興味もとても強いように感じました。日本人もちろん日本が好きではあると思いますが、なにより私が劣っていると感じたことは、他国への関心はあっても日本という自分の国への関心があまりないことでした。私がアメリカに行っていたのが高校生のときで、もちろん周りの派遣生や留学生も同世代が多かったため深くは聞かれませんでした。それでもやはり自分の国のことを少なくとも彼らよりも知らないのだと実感しました。そしてこの時に気付いたことは、アメリカで生活することに憧れ、日本よりも外国が好きだと思っていたのは間違いではないのですが、それ以上に自分の生まれて住んできた日本が好きだということです。アメリカの文化や人々ももちろん変わらず好きです。しかし、日本しかない文化や伝統が本当にたくさんあることに気付かされたことはとても私にとってとても良かったことでそうしたことでさらに日本を好きだと認識させてもらえました。例えば公共のバスや電車の便利さ、24 時間あいているコンビニエンスストア、健康的でおいしさを重視する食文化、など日本にもいいところがたくさんありました。日本人はそこに目をもっと向けるべきだと思いました。

アメリカの高校は日本の大学みたいに、必修科目と選択科目がありました。

高校生の時から自分が将来何をしたいのか、それを見つけてさせるような仕組みになっていました。日本の高校生はどちらかというと自分のしたいことより、有名な大学に入ることが目標でそこで何かをみつけるという流れが多いような気がします。アメリカでどんな同い年の友達に質問しても、大概の人が将来の夢をもっていました。日本の高校生より少し先に自分の将来と向き合っていました。私もそれがかきつけかかわりませんが、帰国したら何がしたいのだろうか、自分は何に向いているのか、今まで以上に考えるようになりました。私は英語を勉強しているのだから、英語を使う仕事につきたいと思っていました。そんなぼやっとした目標でも、その時の私にとっては大きな一歩でした。

私が帰国したとき初めに思ったことは、「自分の思ってること喋れるし、相手の気持ちもわかる。したいことなんでもできるやん」と思いました。一年間伝えたいことを100%伝えることはできない中で、4年半たっても繋がっている親友や、家族とかかけがえのないものができました。一年前のROTEXのあの自信のある姿、堂々としている姿に納得しました。ここは日本だからです。言葉が通じる国、自分が産まれた国と思うことによって、自分の中で可能性が広がり、いろんなことに挑戦できるのです。大学を卒業して、自分が今思っている仕事をしているかはまだわかりませんが、それが英語を使うものではないとしても挑戦していきたいと思っています。そしてとくに一番派遣生活前と違うことは、日本が好きと言い切れることです。

他の国を否定しているわけではありません。アメリカの良いところを見て、知識を得ました。しかし知ったことにより、より一層日本のことが好きになれました。いろいろな人にもっと日本のよさをしってもらいたいと思います。ここまで自分の意思が明確に言えるようになったのはみなさんのおかげです。ありがとうございました。



神田会員の奥様からのコメントです。

「世界を知って欲しいと思い、幼い頃から英会話を習わせたり、オーストラリアでのホームステイを経験させておりましたので、ロータリーの交換留学のプログラムの参加は、何の不安もない様子でした。

でも10ヶ月のアメリカでの生活ではいろんな事があったようです。アメリカの良さを沢山学んだようですが、何より日本の作り出したもの、日本人の思いやり精神など、日本、日本人の素晴らしさを改めて感じ、自分が日本人で良かったと言ってくれた事です。それまでの海外旅行では、旅行した国の良さを知るだけのものでしたが、10ヶ月の留学経験は、日本人として誇りを持てた経験のようでした。

### ニコニコ箱

**横田会長**：久しぶりに地区社会奉仕委員会のメンバーとお会いすることができて。

**青木会員**：しばらくお休みして申し訳ありません。お写真ありがとうございます。

**郷木会員**：今日の卓話の時間を快く引き受けていただいた神田ミナコさん、神田会員に感謝。

**東谷会員**：先週お休みして。

**神田会員**：春、久々に娘とデートが出来て。

**北畑会員**：だいぶ暖かくなってきました。

**森川会員**：例会に欠席して。

**吉岡会員**：山内様にお世話になりありがとうございますました。

ニコニコ累計

943,000円

運営委員会会報担当

枠内は今回担当者

宮野会員

郷木会員

青木会員

川脇会員

國澤会員

中尾会員